

光と風

令和5年1月1日発行 第115号
東大和市立郷土博物館
207-0031東大和市奈良橋 1-260-2
電話 042-567-4800
FAX 042-567-4166

プラネタリウム冬番組

3月12日(日)まで投影中

一般番組 ムーミン谷のオーロラ

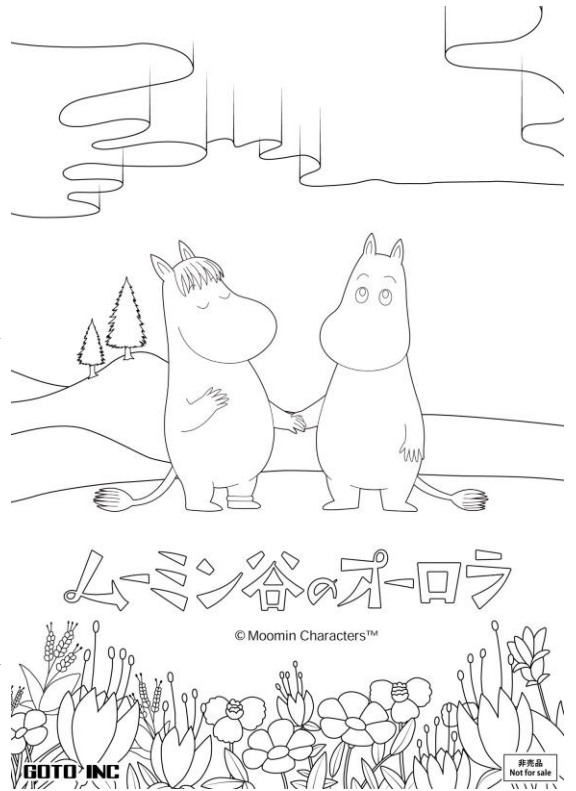
「ムーミンママと春が来ないことに何か関係があるのかしら…」 ムーミンたちが目を覚ますと、ムーミン谷は深い雪の中。いつまでも春が来ません。しかもママだけは眠りについたまま。

ムーミンは仲間とともに、春が来ないわけを探しに出かけます。手がかりはパパから聞いた春のたねにまつわるお話と、何でも凍らせてしまうモラン。

ご覧いただいた方には花の種を差し上げます(数に限があります)。星座解説を含めて45分程度です。

投影日時

開館日午後3時と土・日・祝日午前11時



特別番組 深宇宙探険記



そう遠くない未来の物語。「宇宙には果てがあるのだろうか？」人類は宇宙の謎にせまるべく、深宇宙探査船 NORN(ノルン)で、宇宙の果てを目指します。迫力ある映像をお楽しみください。

星座解説も含めて45分程度です。

投影日時 平日、土・日・祝日 午後1時から

冬番組投影時間

投影開始時刻	午前11時	午後1時	午後3時
平日	*	*	ムーミン谷のオーロラ
土曜・日曜・祝日	ムーミン谷のオーロラ	深宇宙探険記	ムーミン谷のオーロラ

投影途中での入退場はできません。

期間中の休館日 月曜日、1月10日(火)、2月14日(火)、2月24日(金)

観覧料 大人300円、小中学生100円

*新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、座席数を減らしています。

震災特別番組 星よりも、遠くへ

東日本大震災の夜の星空と被災者のエピソードでつづった話題の番組です。『星空とともに』の第二章となる『星よりも、遠くへ』。ぜひ、ご覧ください。

投影時間は45分程度、この番組の観覧料は無料です。

投影日時 3月4日(土)・5日(日)・11日(土)・12日(日)午後4時から ※投影時間にご注意ください。星座解説はありません。

冬の催し案内

📍マークがついている行事は、事前にお申し込みください。郷土博物館 042-567-4800までお願いします。

企画展示

アナログとデジタル

2023年はプラネタリウムがこの世に誕生して100年という節目の年です。当館のプラネタリウム投影機にもアナログのものとデジタルのものがあります。

わたしたちの身の周りの道具もデジタル化されています。時計やカメラなど、ずいぶん変わりました。アナログにはアナログの良さがあり、デジタルにはデジタルの良さがあります。

いまでは見かけなくなったむかしなつかしい道具と、いまの道具、プラネタリウムの投影機についても紹介します。

期間 3月25日(土)～5月14日(日)

会場 企画展示室



デジタル表示の時計(上)

アナログ表示の時計(右)



ロビー展示

すこしむかしのどうぐたち

小学3年生の郷土学習関連の展示として、道具についての展示を行ないます。まちの文化財あんなものこんなもので紹介したデニール秤も展示します。むかしなつかしい道具たちに会いに来てください。

期間：1月8日(日)～3月12日(日)

場所：郷土博物館エントランスホール

※学校の授業対応のため、日程変更になることもありますので、ご承知おきください。

ロビー展示

狭山丘陵で学んだよ

小学生が自然観察・体験をとおして学んだようすを紹介します。

期間 3月25日(土)～5月7日(日)

会場 郷土博物館エントランスホール

常設展示室 吉岡堅二コーナー

堅二の海外旅行

1962年に吉岡堅二が画家仲間とともにインド、中東、ヨーロッパ、アフリカの各国を周遊しました。旅行中に撮影した写真、スケッチ、その他関連する資料をご紹介します。

期間：3月31日(金)まで展示中

場所：郷土博物館2階常設展示室吉岡堅二コーナー

戦災建造物

旧日立航空機(株)変電所の公開



戦災建造物である変電所を、公開しています。保存・改修工事終了後、2階部分も見学できるようになりました。どうぞお越しください。

公開日 毎週水曜日と日曜日

時間 午前10時30分～午後4時

変電所のライトアップ

工場が最初に攻撃を受けた2月17日(金)は、ライトアップを行います。なお、当日は

内部の公開は行いません。
時間 午後5時30分～午後6時30分
場所 都立東大和南公園内

☞ 星空観察会

惑星をみよう

惑星と冬の星座を探します。木星のしま模様や赤い火星のほか、天王星、海王星も天体望遠鏡でみます。三日月よりも太めの月もお楽しみに。

期日 1月28日(土) / 集合 午後5時30分
郷土博物館ロビー / 定員 30人 (申込先着順)
/ 案内 星空ボランティア・博物館職員 / 会場 郷土博物館前

☞ 自然観察会

空堀川の鳥たち

鳥が見やすい空堀川。カワセミ、コガモ、コサギなど野鳥観察を楽しみませんか。

期日 1月29日(日) / 集合 午前9時30分
武蔵大和駅下広場 / 持ち物 筆記用具・双眼鏡 / 案内 郷土博物館職員 / 観察地 空堀川
(清水橋～高木橋) お昼前に解散します。

☞ 自然観察会

冬の生き物たち

冬越しをする草木や虫。冬でも元気な野鳥の観察を楽しみます。冬ならではの自然現象もお楽しみに。

期日 2月11日(祝) / 集合 午前9時30分
郷土博物館会議室 / 持ち物 筆記用具・双眼鏡 / 案内 郷土博物館職員 / 観察地 市立狭山緑地 お昼前に解散します。

☞ 自然観察会

バードウォッチング

葉の落ちた林で、エナガやキツツキの仲間などを探します。

期日 2月26日(日) / 集合 午前9時 郷土

博物館前 / 持ち物 筆記用具・双眼鏡 / 講師 大庭健二さん(都市鳥研究会幹事)・柴田佳秀さん(日本鳥学会会員)・永石文明さん(東京農工大学講師) / 観察地 市立狭山緑地 お昼頃解散します。

☞ 自然観察会

野草教室

早春の花・カタクリをはじめ、芽吹き間近の雑木林で植物観察を楽しみます。好評のスライド解説もお楽しみに。

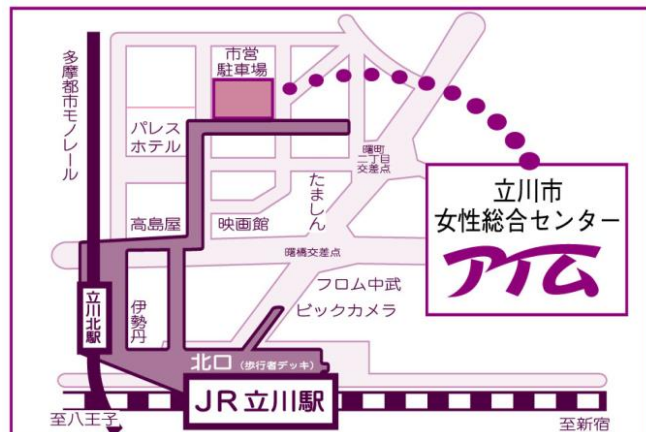
期日 3月21日(祝) / 集合 午前9時30分
郷土博物館会議室 / 持ち物 筆記用具 / 講師 下田治信さん(認定NPO法人KU-MA会員) / 観察地 市立狭山緑地 お昼頃解散します。

第35回 多摩郷土誌フェア

多摩地域の教育委員会等が出版した郷土の歴史や文化財等に関する図書を一堂に集め、展示販売します。東大和市以外の図書もじっくりと選べる絶好の機会です。3年ぶりの開催となりますので、この機会にぜひご来場ください。

期日 1月21日(土)・22日(日) / 時間 午前10時～午後5時(22日は午後3時まで)
/ 会場 立川市女性総合センターアイム1階 センターギャラリー

(立川駅北口から歩行者デッキで徒歩7分です。駐車場はありません。車でお越しの際は、隣接する有料駐車場をご利用ください。)



博物館カレンダー

郷土博物館は1月～3月のあいだ、次のように開館します。■は休館日です。

3月14日～17日は番組入れ替え作業のため、プラネタリウムのみお休みさせていただきます。

	日	月	火	水	木	金	土
1	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
月	29	30	31				
2				1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
月	26	27	28				
3				1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
月	26	27	28	29	30	31	

この冬のアストロショー

夕空に惑星が集合しています。惑星は星座の中を移動するので、毎日、位置が変わります。水星、土星は1月に入ると太陽に近くなるので次第にみえにくくなります。木星もみごろは3月頃までです。火星は12月1日に地球へ最接近したばかりなので、まだまだ明るくみえます。

よいの空では、星座の星たちも1等星が多い頃です。1等星をつないで、冬の大三角や「冬のダイヤモンド」を描きます。みつけるだけでうれしくなります。冬のダイヤモンドの6つの星の色は少しずつ違います。火星とアルデバランとベテルギウスで描く赤い三角形は今だけの目印です。りゅうこつ座のカノープスも1等星ですが、南の地平線近くにみえるので、東京では2時間ほどでみえなくなります。詳しくは毎月の「星だより」(館内発行)をご覧ください。(野崎)

あんなもの
まちな文化財
こんなもの
ばかり

デニール秤



かけてある糸は、イメージです。

この見慣れない形のは、デニール秤といって、糸の太さを測る道具です。

細くて柔らかな糸は、とても測りにくいので、糸の長さや重さから、太さを判断します。一定の長さの糸がどれだけの重さになるかで、糸の太さを表す方式を恒長式番手(こうちょうしきばんて)といいます。検尺機(けんしゃくき)という、糸を巻き取りながら、長さを測ることのできる道具を使い、9,000mあるいはその何分の一かにあたる長さを測ります。測った糸を、この秤にかけ、9,000mに対し1gのときの糸の太さを1デニールといいます。数字が大きくなるに従い、太い糸だということになります。このデニールという単位は、絹やポリエステル・レーヨンなどの繊維に使われます。

それに対し、一定の重さの糸がどれだけの長さになるかで、糸の太さを表す方式を恒重式番手(こうじゅうしきばんて)といい、綿や毛・麻はこの方式で表します。数字が大きくなるとそれに反して糸が細くなります。

日常生活では、糸の太さを測る場面はありませんが、冬場にお世話になるタイツのパッケージには「80デニール」などの表示があります。これは、どの太さの糸で作ったかを示しています。今年の冬は何デニールのタイツで過ごしましょうか。

(梶原)